



国土交通データプラットフォームの利活用推進 ～SIPと連携した第二次公募実証に向けて～

2025/11/4 「未来を切り拓くスマートインフラマネジメント」

国土交通省 参事官G 斎藤正徳

国土交通省インフラ分野のDX推進本部

- ・インフラ分野において、データとデジタル技術を活用し、安全・安心で豊かな生活を実現するため、「インフラ分野のDX推進本部」（本部長：技監）を設置。
- ・これまで、「インフラ分野のDXアクションプラン」や「i-Construction 2.0」について議論。
- ・今年6月に国土交通省DX推進本部（本部長：国土交通大臣）が開催され、国土交通省DXビジョンとインフラ分野のオープンデータの取組方針の策定を報告

インフラ分野のDX推進本部 開催経緯

令和2年 7月29日 第1回

・ インフラ分野のDX推進本部の立ち上げ

・
・
・

令和4年 3月29日 第5回

・ インフラ分野のDXアクションプランの策定

・
・
・

令和5年 7月26日 第8回

- 「インフラ分野の DX アクションプラン第2版」の改定について

令和6年 4月 5日 第9回

- i-Construction 2.0 建設現場のオートメーション化について

令和6年 10月31日 第10回

- インフラ分野のオープンデータについて

令和7年 3月17日 第11回

インフラ分野のオープンデータ取組方針

国土交通省 DX 推進体制

国土交通省DX推進本部
(2025年6月開催)

国土交通省DX推進会議

本部長:大臣
本部長代行:副大臣、大臣政務官
副本部長:事務次官、技監、
国交審、官房長、政総審、情報審
本部員:各局長 等

議長:事務次官
議長代行:技監、国交審
副議長:官房長、政総審、情報審
本部員:各局長 等

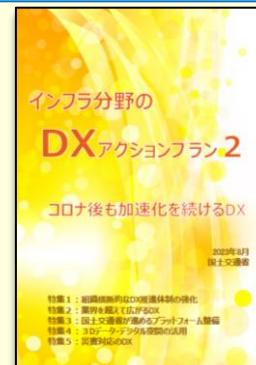
DXビジョン
作業部会

部長:官房長
副部長:政総審、
情報審、技総審、技審
+各局総務課長、技調課長等

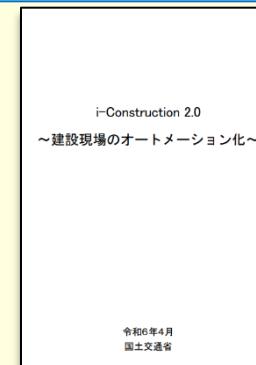
インフラDX
推進本部

本部長:技監
副本部長:技総審、
技審、審議官(不建)
+各局担当課長等

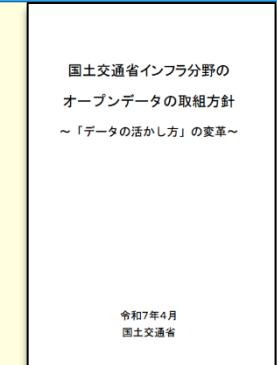
その他
施策



■各施策の取り組み概要や具
体的な工程を明らかにした
「インフラ分野の DX アク
ションプラン第2版」の改定
(令和5年8月)



■建設現場の生産性向上に向け
i-Construction 2.0 建設現場
のオートメーション化を公
表 (令和6年4月)

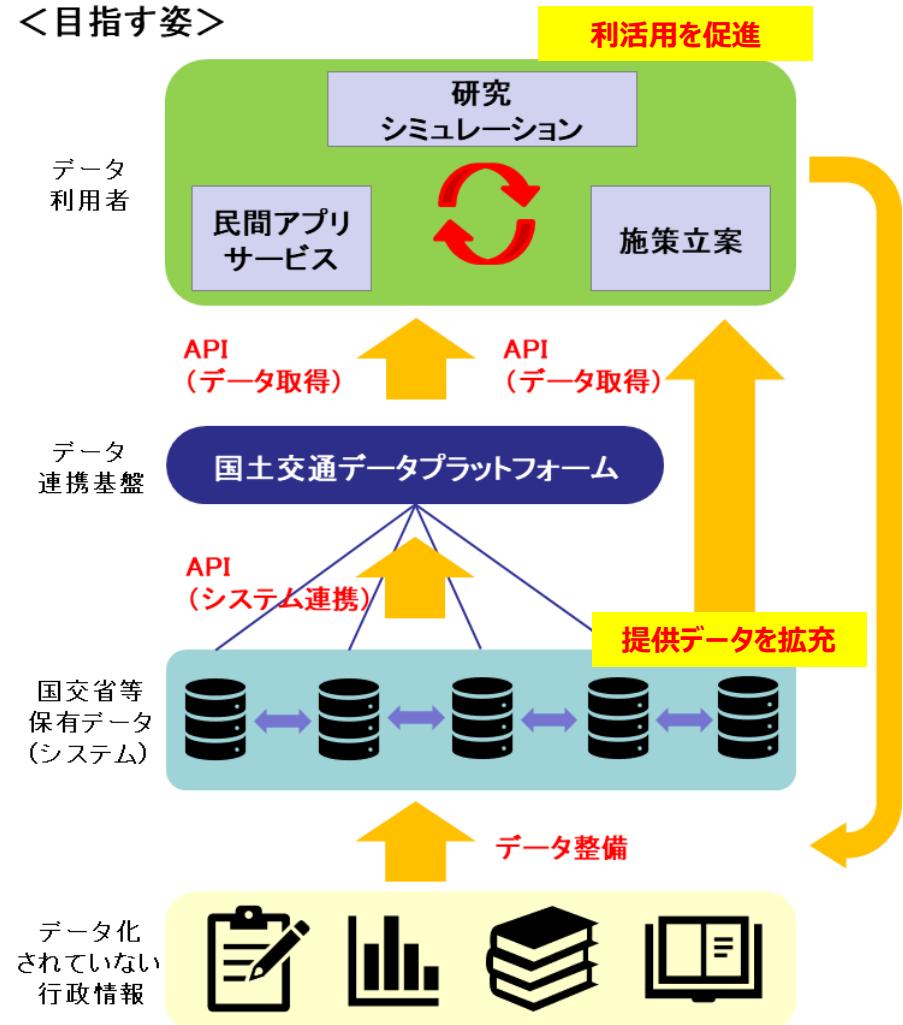


■インフラ分野におけるデータ活用に
よる施策の効率化・高度化に向け、イ
ンフラ分野のオープンデータの
取組方針を策定 (令和7年4月)

国土交通省インフラ分野のオープンデータの取組方針

オープンデータを推進することにより、データの拡充、蓄積、連携が進み、そのデータを活用してユースケースが創出される、持続的なサイクルの構築を目指し取り組み方針を令和7年4月に策定

<目指す姿>



取組方針

- ① 社会全体のイノベーション創出が推進されるよう、利用者のニーズ等を踏まえオープンデータ化に努める。
- ② オープンデータにあたっては、利用者の利便性が確保されるよう機械判読に適した構造及びデータ形式で公開する。
- ③ 国民誰もがウェブサイトで容易に必要なデータを検索できる環境を整備するとともに、API等により効率的なデータの提供を推進する。

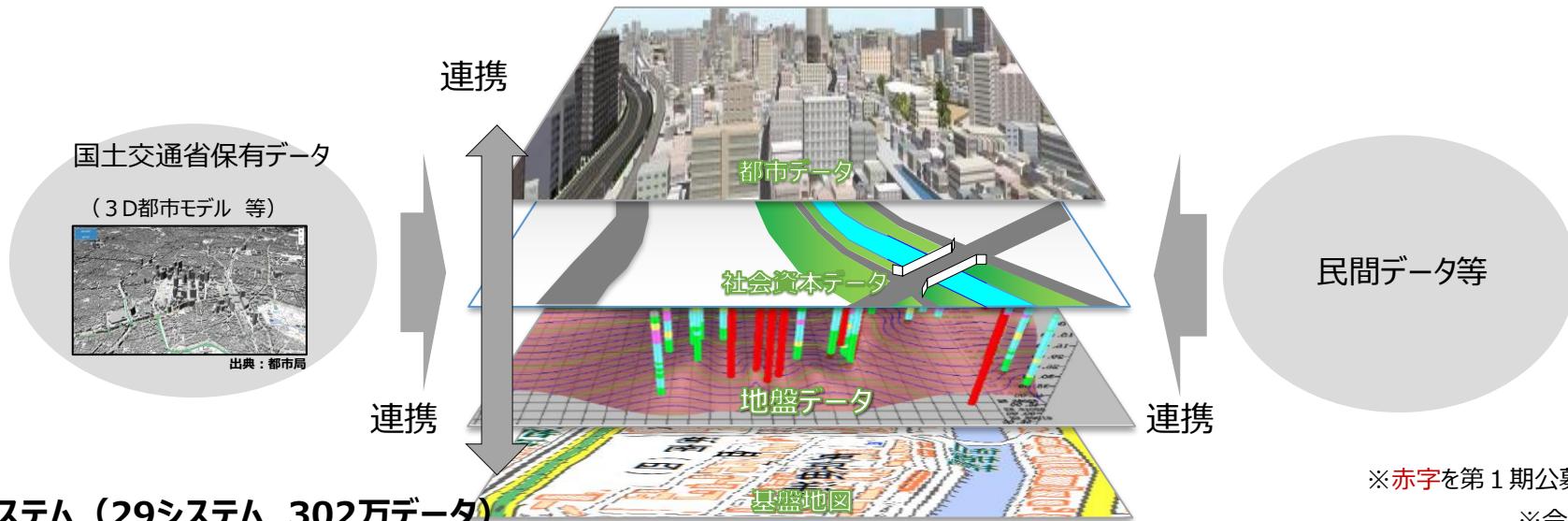
(注)

- ・国土交通DPFと連携した場合は、上記①～③を満たすこととなる
- ・国土交通DPFとの連携を検討することとする。
- ・各システムからデータ利用者に対し、API等で直接データ提供も推奨

国土交通データプラットフォームの概要

国土交通データプラットフォームとは

国土交通省が多く保有するデータと民間等のデータを掲載し
国土交通省の施策の高度化や業務効率化・産学官連携によるイノベーション創出
を目指し構築を進めているプラットフォーム



■ 連携システム（29システム 302万データ）

国土に関するデータ	経済活動に関するデータ	自然現象に関するデータ
<ul style="list-style-type: none"> ・電子納品保管管理システム ・社会資本情報 ・国土数値情報 ・PLATEAU ・東京都ICT活用工事3D点群データ ・静岡県 航空レーザー点群データ ・全国道路施設点検データベース ・Cyberport ・国土地盤情報データベース ・My City Construction ・海洋状況表示システム（海しる） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダム便覧 ・高速道路会社の工事発注図面データ ・工事実績情報システム（コリンズ） ・熊本県施設管理データベース ・インフラみらいマップ ・重要文化財点群データ ・MMSによる三次元点群データ等 ・広島県インフラマネジメント基盤（DoboX） ・戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国幹線旅客純流動調査 ・FF-Data（訪日外国人流動データ） ・道路交通センサス ・GTFSデータリポジトリ ・都市QOLデータ

国土交通データプラットフォームの概要【動画】

MLIT DATA
PLATFORM

国土交通データプラットフォーム

国土交通データプラットフォームの3機能

データ整形・管理

①カタログ機能

インフラまわりのデータの種類・内容等を、同一インターフェース上で一覧で把握でき、一括で検索できる機能

一覧把握

一括検索

管理

カタログ管理

語彙・コード
管理

制御

連携基盤

システム接続

データ統合

データ変換

デジタル化、
データモデルの標準化



②提供機能

データをダウンロードまたはAPI連携により提供する機能

ダウンロード

API

民間サービ
ス・アプリ

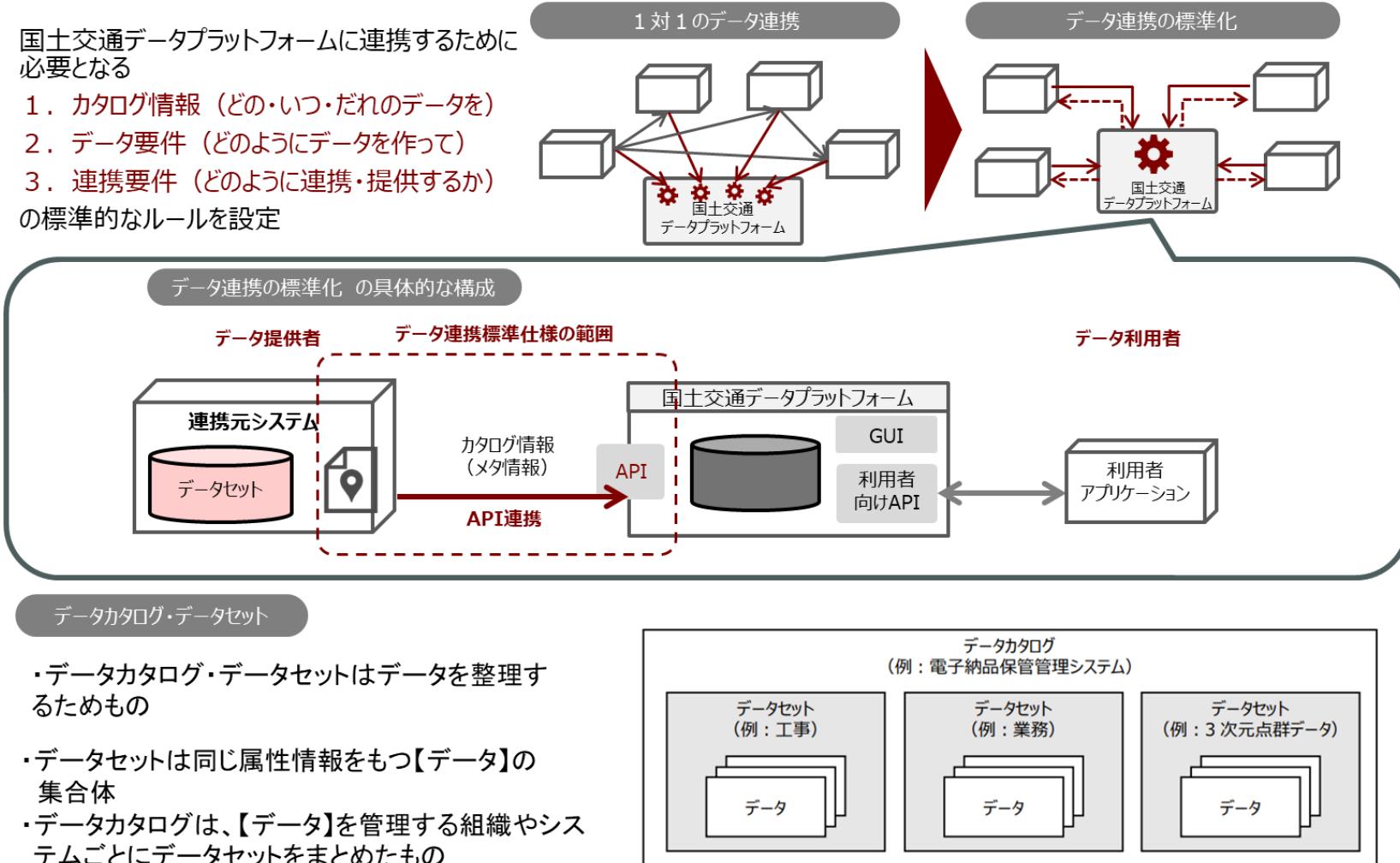
③可視化機能

デジタル地図の特性を活かして、立体的・面的・線的に各種データを可視化する機能



国土交通データプラットフォーム連携標準仕様（案）

- 国土交通データプラットフォームで多様なデータを一元的にカタログ化・提供可能するために、国土交通データプラットフォームとの連携方法を規定した「国土交通データプラットフォーム連携標準仕様（案）」を策定
- 国土交通データプラットフォームでは、システム間で連携することでデータそのものストレージではない



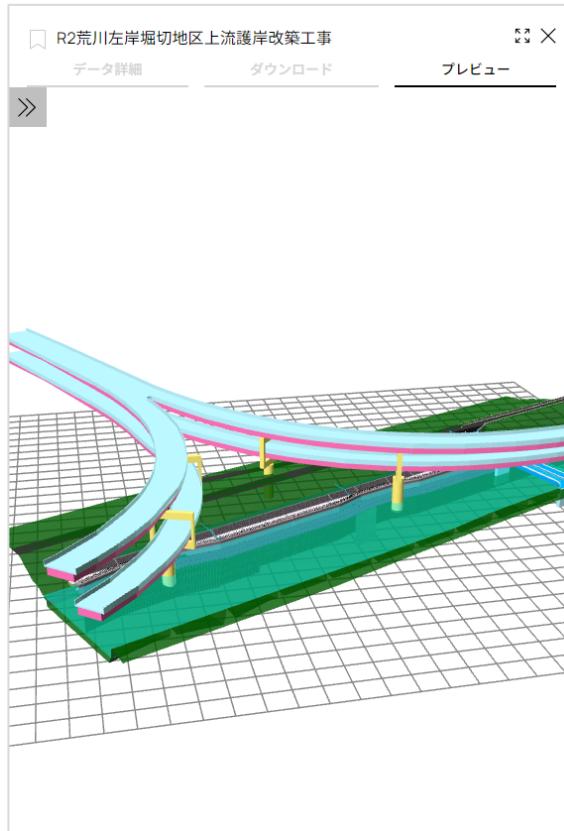
データカタログ例（電子納品・保管管理システム）

CALS/EC
電子納品・保管管理システム

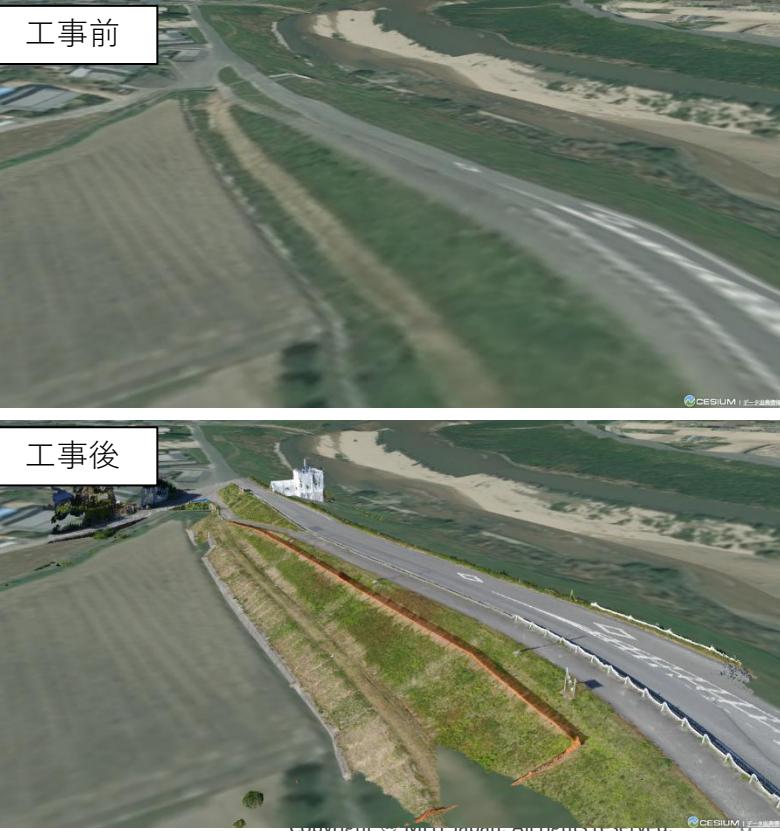
電子納品保管管理システム

- ・国土交通省が発注する公共工事や業務委託の実施後に、発注者が受注者から電子データで納品された成果品データ。
- ・工事・業務管理ファイル、IFCファイル、設計図面ファイル、3次元点群データを掲載。

IFC (BIM/CIM)



点群

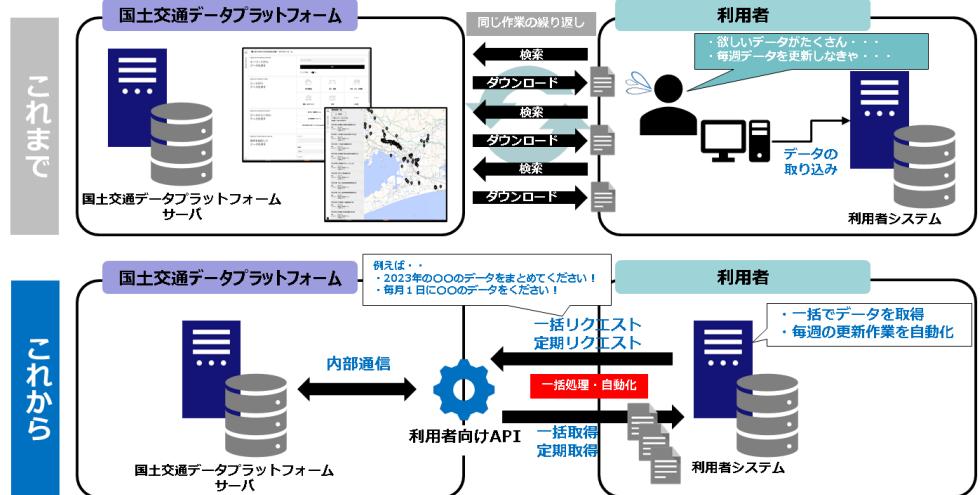


利用者向けAPI

国土交通DPF上のデータを検索・取得できるAPIを提供（R5.9～）

メリット

- 自動的にデータの検索や取得が可能になることで手作業の軽減、作業が効率化
- 国土交通データプラットフォームと連携している各データにリアルタイムにアクセス



APIの概要

API	概要
検索API	・検索ワードやデータに関する情報（メタデータ）からデータを取得。 ・矩形又は円形で指定した領域内に含まれるデータを取得。
データ取得API	データIDを元にデータを取得。
全データ取得API	データの大量取得を容易にする。
カタログ情報取得API	データカタログ/データセットのメタデータを取得。
ファイルURL取得API	ファイルIDを元にファイルのダウンロードURLを取得。
ZIPファイルURL取得API	複数のファイルをZIP圧縮し、圧縮ファイルのダウンロードURLを取得。
サムネイル画像URL取得API	データのサムネイル画像のURLを取得。
データ数取得API	データセットや年度、ファイルフォーマットなどの属性について属性ごとのデータ数を取得。
キーワードサジェストAPI	検索APIで指定する検索ワードの候補を取得。
コード情報取得API	都道府県コード及び市区町村コードを取得。

アプリ例

点群変換ツール（α版）の概要

● ユースケース

点群データを入力し、3DTiles形式に変換できるアプリ。

点群ファイルを国土交通データプラットフォームやブラウザ上で表示可能な3DTiles形式への変換が可能。

LAS、CSV、TXT形式の点群ファイルを変換可能です。変換した地図上で重ね合わせて即座に表示し、変換結果を確認できる。

従来、変換するために専門的な知識やプログラミングを必要としていたが、PC上で用意に変換できるのでユーザーの利便性が向上。

● アプリでできること

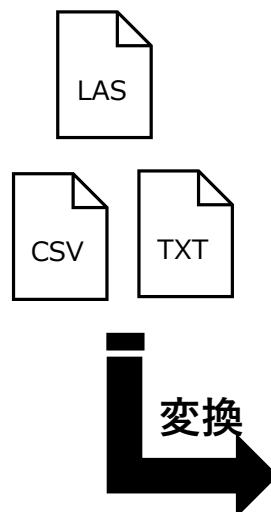
点群データを3DTilesに変換

PCのローカルにある点群ファイルを選択し、簡単な設定で、3DTilesに変換されます。



地図重ね合わせイメージを確認

国土交通DPFにデータ登録する前に、地図上に重ねて掲載するイメージを確認できます。



国土交通データプラットフォーム「利活用アプリ」ページよりDL可能です！

<https://www.mlit-data.jp/#/AppInfoList>

国土交通DPF×SIP連携公募の実施

(第1期 公募実証 2024年12月～2025年6月)

公募実証の募集タイプ¹は「データ提供」と「データ利用」の2種類

募集タイプA

データ提供者

参加 13件 (民間、大学、自治体)

目的

国土交通省に限らない多様な主体が参画・連携し
**データ・システムの接続性を高めることで
 統合的なデータ利活用環境の構築**を目指す

実施内容

- 国交DPFへのデータ提供・掲載への参画
- 各分野、組織のリポジトリやデータベースと円滑に接続・連携するための実証調査を実施
- 国土交通DPF上で提供いただいたデータ、メタデータを横断的に検索・可視化・取得可能とする仕組みを検証
- 相互運用性や効率的な連携の仕組みを確立



保有データを連携

- メタ情報
- ファイル情報
- etc...

DPFのAPI・GUIを活用
サービス・アプリ開発

利用者アプリケーション・サービス

募集タイプB

データ利用者

参加 19件 (民間、大学、自治体)

目的

国土交通DPFの**利用者向けAPI・データ利活用**を促進しデータ活用の可能性を広げる

実施内容

- 国土交通DPF上のデータを活用したアプリケーションやサービスを開発・提案
- 研究～実用段階のサービスまで、幅広い取り組みを対象
- 活用技術や手法は自由 新たな**技術提案**も歓迎

国土交通DPF連携公募の成果一覧

(第1期 公募実証 2024年12月～2025年6月)

連携実証調査のうち、公開環境の整ったデータ提供5件の連携を開始し、データ利用6件について活用事例を公開。

データ提供：5件

国土交通データプラットフォームを介して
参加主体が保有するデータを提供

組織名	提供データ（カタログ・データセット）
新和設計株式会社、株式会社新和調査設計	重要文化財点群データ
株式会社バスコ（事例1）	災害緊急撮影（斜め写真）
大日本ダイヤコンサルタント株式会社インフラ技術研究所	都市QOL
東京都立大学都市環境科学研究所	グリーンインフラ導入可能性の類型化 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期
広島県	インフラマネジメント基盤（DoboX）

データ利用：6件

国土交通データプラットフォームよりデータを利用し、新たなサービスの創出

組織名	利活用アプリ・事例
大日本ダイヤコンサルタント株式会社 インフラ技術研究所	DN-RAMS ～道路整備優先度の総合評価サービス～
広島県	インフラマネジメント基盤（DoboX）
東京科学大学環境・社会理工学院、北海道大学大学院工学研究院	空間経済分析の実践基盤の確立 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期
株式会社ニュージェック	水水DB水文データ取得ツール
パシフィックコンサルタント株式会社	Visualizer～あなたのまちの橋の声、聴いてみませんか～
株式会社RYODEN、株式会社ヴィッツ（事例2）	WARXSS®

(事例 1) データ提供：災害緊急撮影（斜め写真）（株式会社パスコ）

- ・災害発生直後から航空機で緊急撮影した、災害対応等に活用可能な河川氾濫や土砂災害等の斜め写真。
- ・「リアルタイム災害情報提供システム」に登録された斜め写真を、「G空間情報センター」を介して、自動的に追加更新される仕組みを構築した。

石川県珠洲市仁江町付近
データ詳細
付箋ファイル
カタログ 災害緊急撮影（斜め写真）
データセット 令和6年9月21日能登地方大雨災害（斜め写真）
年月/年 2024
エリア 石川県
緯度経度 37.489475, 137.101605
独自利用規約 (<https://corp.pasco.co.jp/disaster/assets/%E7%87%9B...>)
属性情報
基本情報
都道府県コード 17
その他
データセット名 令和6年9月21日能登地方大雨災害（斜め写真）【株式会社パスコ】
タイトル 石川県珠洲市仁江町付近
説明

カタログ 災害緊急撮影（斜め写真）
データセット 令和6年9月21日能登地方大雨災害（斜め写真）
検索・閲覧 可能 ダウンロード 可能
データ提供者 株式会社パスコ
参考URL
 • リアルタイム災害情報提供システム（運営：AIGID）
<https://front.geospatial.jp/rtds/>
 • G空間情報センター（運営：AIGID）：<https://front.geospatial.jp/>



災害時の速やかな情報提供・データ活用を目指し、システム間連携による自動更新



斜め写真の例

(事例2) データ活用 : WARXSS® (株式会社RYODEN、株式会社ヴィッツ)

WARXSS®は、PLATEAUなどの国土交通DPFが提供するオープンデータを活用し実在の街を再現した3Dの仮想空間上で、自動運転サービスカーの走行パターンや交通状況を視覚的に再現できるシミュレーションツール。リアルな3D環境で、交差点・丁字路などにおける複雑な交通状況を再現し、住民説明や事業者との対話、関係機関内の調整など、幅広い場面での活用が期待される。



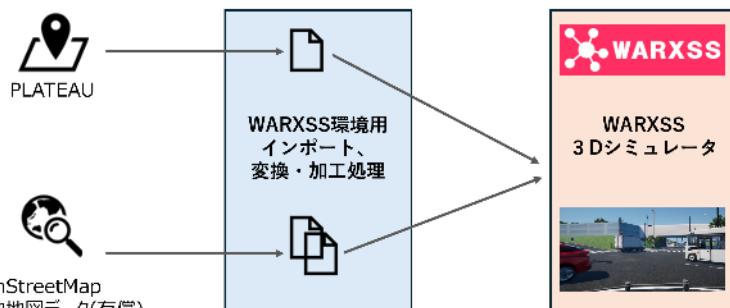
サービス名	WARXSS®
提供・開発者	株式会社RYODEN、株式会社ヴィッツ
参考URL	https://www.witz-inc.co.jp/

活用しているデータセット

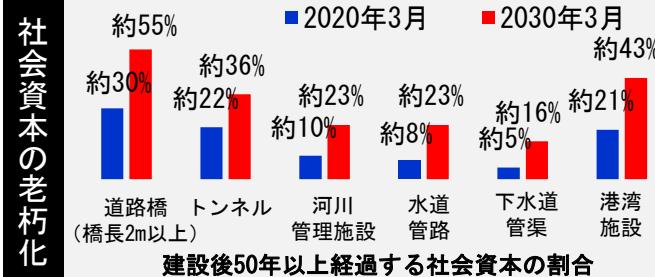
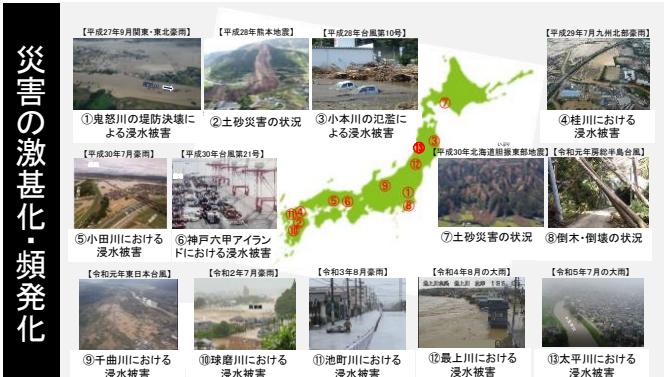
カタログ	データセット
3D都市モデル (PLATEAU)	2024年度, 2023年度, 2022年度, 2021年度, 2020年度

国土交通DPFよりPLATEAUの3D都市モデルを活用し、基礎となる地図データの購入コストや仮想空間の作成にかかる工数は従来比で約20%削減することが可能となった。

- PLATEAU活用のメリット :
1. PLATEAU用インポート、変換・加工処理のみ作成のみでOK。
 2. 無償で準備可能。



インフラ分野におけるAIの活用



i-Construction2.0の推進(建設現場のオートメーション化)

- ・人口減少下でも持続可能なインフラ整備・維持管理ができる体制を目指す。
- ・2040年度までに建設現場のオートメーション化を進め、少なくとも省人化3割、生産性1.5倍を目指す。

現場↔建機の双方向でリアルタイムデータを活用し、建設施工の自動化に向けた取組を推進

維持管理の高度化

- ・故障検知AI
- ・寿命予測AI
- ・故障予測
- ・寿命予測

オープンイノベーションの推進

MCP (Model Context Protocol)

情報自動抽出
ユーザー

生成AI

RAG (Retrieval-Augmented Generation)

デジタルツインで河川機械設備の異常を仮想的に再現し、生成したデータによりAIの異常検知精度を向上

自動施工の導入拡大に向けた安全ルール等の技術基準類の策定

画面表示からシステム連携、そして「AI連携」へ

- GUIでの可視化、検索には限界があり、データを自然言語により検索したいというユーザー要望。
 - 生成AIの技術進展により一般ユーザーが身近にAIを活用する機運が高まっている。
 - 技術的にもMCP構築は安価であり、効果が高い。

MENU	MLIT DATA PLATFORM 土木交通データプラットフォーム		
	SEARCH FOR DATA [01-KEYWORD] データを探す	条件から検索 お好きなキーワードや条件を設定して データを探せます	地図から検索 気になるデータセットごとに 地図上に表示してデータを探せます
新規登録	<input type="text"/> キーワードを入力 × 検索	検索	
新規登録	[SEARCH BY THEMES] 02-THEME テーマから データを探す	電子成果品 	国土 
新規登録		道路 	
新規登録		都市・まちづくり 	河川・ダム・水資源 
新規登録			交通 

GUI

専門知識がなくても、WEB画面上で、ボタンやアイコン、地図を使って、直感的に操作できる。
地図上への表示やプレビュー表示等、視覚的な情報表示が容易にできる。

```
GraphQL [Pretty] [Merge] [Copy] [History] Docs

1 "query" {
2   search(
3     query: "コード" #検索語
4     type: "text" #検索の種類
5     total: true #検索結果の総数を取得する
6     searchResults: { #検索結果を取得する
7       title: true #タイトルを取得する
8       first: 10 #最初の10件を取得する
9       size: 10 #1件あたりの件数を10に固定
10      } #スニペットを検索
11    ) {
12      totalDuber #検索結果の総数を適宜のように指定
13      searchResults { #検索結果を取得する
14        title #タイトルを取得する
15        first #最初の10件を取得する
16        size #1件あたりの件数を10に固定
17      }
18    }
19  }
20 }
21 }
22 }
23 }
```

```
{
  "data": {
    "search": {
      "total": 1,
      "searchResults": [
        {
          "id": "b8ccf08d-aaad-4800-aedc-e7bdac3517b",
          "title": "「PRIDE」"
        },
        {
          "id": "7e434718-eeb2-4716-aec2-1a7765847f9",
          "title": "「BRIDGE」"
        },
        {
          "id": "7a0bb36-0482-4e0c-aec2-ae87fb0b2e0b",
          "title": "「BRIDGE」"
        },
        {
          "id": "5250dbbf-0230-4484-8c25-1a9f1240746b",
          "title": "「BRIDGE」"
        },
        {
          "id": "931332f-4612-4118-bcd1-115c77768d84",
          "title": "「BRIDGE」"
        }
      ]
    }
  }
}
```

API 「連携・自動化する」

他のシステムやアプリケーションとの連携が容易で、必要なデータを柔軟に取得可能。大量データの処理や定期的な更新処理に優れている。ただし、API利用にはプログラムの知識が必要である。

The screenshot shows a search results page for '国土交通データプラットフォーム' (National Land and Transport Data Platform). The search term '国土交通データ' has been entered into the search bar. Below the search bar, there is a dropdown menu labeled 'M: get_data_catalog_summary'. The main content area displays a list of 12 items, each with a small icon and a link:

- 1. 地図データプラットフォームが適用している約900件すべてを教えてください
- 2. 国土交通データプラットフォームで利用可能なデータカタログの情報を取得いたします。
- 3. 国土交通データプラットフォームに連携されているカタログは以下の通りです：

 - 1. 電子商品券管理システム (CALS)
 - 2. 社会基盤情報 (IPF)
 - 3. 国土整備情報データベース (NGI)
 - 4. 全国道路施設点検データベース (RSDB)
 - 5. 地方公共団体の工事データ (My City Construction) (MCC)
 - 6. 国土整備情報 (NLIN_RS3)
 - 7. 3Dモデルデータ (PLATEAU) (MLIT_PLATEAU)
 - 8. 全国陸上・船舶交通情報開発・一般交通量調査（道路交通センサ）(RTC)
 - 9. 水文水質データベース (HWQ)
 - 10. 東京BCIT活用工具データ (TCID)
 - 11. FF-Data（活用実例・動画データ）(FFD)
 - 12. 静岡県航空レーザ点群 (ALPC)

MCP
「AIで検索・分析する」

従来のGUIやAPIでは難しかった「曖昧な指示」や「複雑な条件検索」を、AIを用いて専門知識がなくとも、自然言語で簡単に実行できる。

国土交通DPF第2期 公募開始（11月4日から）

募集タイプ^①は「データ提供」と「データ利用」と「AI活用」の3種類

募集タイプA データ提供者

繋がるデータ、広がる連携

- 多様な主体による統合的データ利活用環境の構築 -
- ✓ 国土交通DPFへのデータ提供・掲載に参画
- ✓ 各分野・組織のデータベースとDPFとの接続・連携に向けた実証調査を実施
- ✓ DPF上で提供されたデータ・メタデータの横断検索・可視化・取得の仕組みを検証
- ✓ 相互運用性と効率的な連携手法の確立を目指す



連携元システム

保有データを連携

- メタ情報
- ファイル情報
- etc...

募集タイプB データ利用者

データを使い、社会を動かす

- 土国交通DPFで広がるデータ利活用の未来 -
- ✓ 国交DPFのデータ・利用者向けAPIを活用したアプリケーション・サービスの開発・提案
- ✓ 研究段階から実用化されたサービスまで、幅広い取り組みを対象
- ✓ 技術・手法は自由で、創意工夫を尊重

AIデータ利用 ・MCP開発 ・LLM利用



利用者アプリケーション・サービス

API・データを活用

サービス・アプリを開発



募集タイプC

インフラAI共創パートナー AI活用の枠組み検討

- 教師データとAI実証による次世代エコシステムの創出 -

- ✓ AIデータの活用検討および共有
 - インフラ整備・管理に関するデータのAI活用に向けた枠組み検討
- ✓ AIを活用した環境検討
 - 土国交通DPFや提供データを活用したAIモデルやアプリの環境検討



AI教師データ



AI活用事例

教師データを連携

- メタ情報
- ファイル情報
- etc...

API・データを活用

サービス・アプリを開発

募集内容

募集タイプは「データ提供」、「データ利用」、「AI技術活用」の3種類

募集タイプ	実施内容	公募参加にあたっての条件	提供データの取り扱い	アプリケーション・サービスの取り扱い
A データ提供者	<ul style="list-style-type: none"> 参加者が保有するデータ・システムと国土交通DPFを接続し、国土交通DPFへデータ提供 ※接続方法は協議の上決定 	データ提供後、継続的な更新を実施すること	国土交通DPF上で検索・表示・ダウンロード可能とする	—
B データ利用者	<ul style="list-style-type: none"> 国土交通DPFが提供する機能を活用したアプリケーションやサービスの創出 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者向けGIS、GIS利用者向けAPI等の国土交通DPFが提供する機能を活用すること 	—	<ul style="list-style-type: none"> 国土交通DPFにアプリケーションやサービスの紹介ページを掲載 アプリケーションやサービスの提供形態（有償・無償）については制限を設けない
	<p>AI技術を活用する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> インフラ分野へのAI技術活用に向けたアプリケーションやサービスの創出 	<ul style="list-style-type: none"> MLIT DATA PLATFORM MCPサーバや、外部のLLM等のAI技術を活用すること 	—	
C インフラAI共創パートナー	<ul style="list-style-type: none"> インフラ整備・管理に関連するデータ共有・AI活用に向けた枠組みや技術的な検討（協調領域と競争領域を整理含む） 	<ul style="list-style-type: none"> インフラ整備・管理に関連するデータを保有し、保有データの特性等を参加者間で情報共有すること 	<ul style="list-style-type: none"> 協調領域と整理されたものは国土交通DPF上で検索・表示・ダウンロード可能とする 	—

- ✓ 公募実証に係る一切の費用は、参加者による負担とする。
- ✓ 複数の公募タイプへの併願も可能とする。
- ✓ 公募要領により難い場合は、事務局と協議の上、調整を行うものとする。

※詳細は公募要領を参照すること

タイプA(データ提供者) 国土交通DPFへの接続方法

データ提供イメージ

実証期間内において、接続に必要な要件や仕様を事務局と協議のうえ、最適な接続方式を選定する。

- ・ システムを保有する参加者は、国土交通DPFが提供する連携専用のAPIを使用してデータ連携
- ・ データを簡易に提供したい参加者は、G空間情報センターや連携管理アプリを利用して連携
- ・ これらにより難い場合は、実証期間内において事務局と協議の上進める

提供システム



提供ファイル



複数データ



軽微なデータ

方法①

国土交通DPFの提供する
連携用APIを使用した連携



国土交通DPF連携用API
その他接続方式 (SFTP等)



G空間情報センター



国土交通データプラットフォーム

方法②

G空間情報センターへの
データ登録を介した連携

方法③

国土交通DPFの提供する
連携管理アプリ (GUI) を
使用した連携

タイプB(データ利用者) 取組成果の広報

タイプB成果の外部発信・公表イメージ

- 作成したアプリケーションやサービスの紹介にとどまらず、現場における工夫や実践的な知見を含めて広く発信を行う。
- 技術的な価値のみならず、組織としての取り組み姿勢や強みを対外的に示す機会となる。

 MLIT DATA PLATFORM 国土交通データプラットフォーム

 カタログ一覧

 地図から検索

 検索から検索

 お気に入り

APPLICATIONS

利活用アプリ

2025.7.30 Community DN-RAMS～道路整備優先度の総合評価サービス～

2025.7.30 Community インフラマネジメント基盤（DoboX）

2025.7.30 Community 空間経済分析の実践基盤の確立

利活用アプリ一覧は[こちら](#)

合意形成を支援する3Dシミュレータ



概要

本アプリは、利権者が実行する構造インフラの維持管理に対する意見を収集すること目的として開発されたものである。収集の可視化手法は、専門知識や技術的知識を持つ利権者だけでなく一般市民にとって直感的な理解が難しい側面もあったと考えられる。そこで本ツールは、複数の状態を「現状」と「対応」とによって表現し、誰もが直感的に他の健全度を判断できる仕組みを提供することを目指している。

ターゲットユーザーは、自治体職員やインフラ関係者に加え、地政担当者、教育関係者、子ども、高齢者など幅広い層である。特に、専門知識を持たない人々に対しては、構造の変更を自分で確かめることで、理解の深化を図ることが可能である。

本ツールでは、地上上の河川や道路の位置のマーク（河川、堤防等）によって表示される。その結果、その場所の構造の状態がリアルタイムで音と視覚で表示される。健全な構造の場合は緑色、不健全のある場合は黄色で表示され、構造長さ、対応年数、地盤、人口密度、土地利用、高齢などの属性も音響要素に変換される。これにより、河川や道路ごとの「音の風景」（サウンドスケープ）を作成でき、インプットの間口や理解を深めることができるとされる。

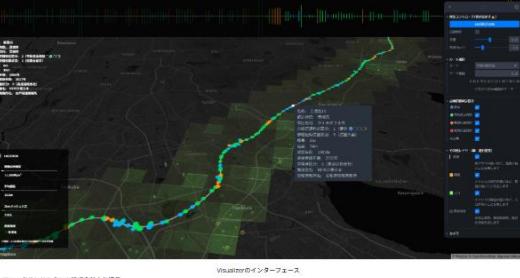
また、国土交通省DF APIや各種オープンデータなどを活用し、最新の実情情報を反映することで、行為の実時間性や利便性との合致感にも繋がる。教育、防災、広報、開発、アートなど多岐な分野での活用が期待されており、展示会や地元のお祭りイベントでは来場者から一定の関心や注目を集めている。

タイトル
仮想空間シミュレータ「WAKSS®」

アプリ開発者
提供者
株式会社RYODEN
提供者URL
<https://www.ryoden.co.jp/>

開発者
株式会社ビック
開発者URL
<https://www.wtz-co.jp/>

概要



機能
可視化機能

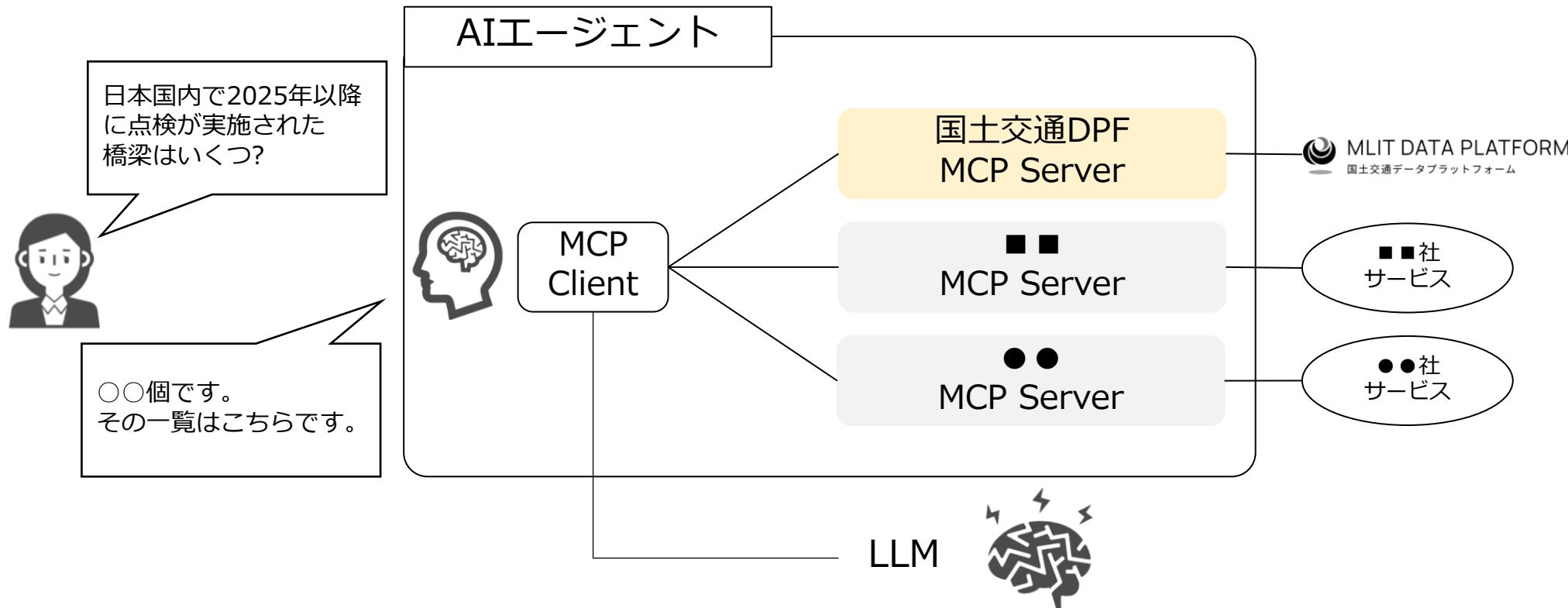


※発信内容は公募参加者と協議の上決定する

タイプB(データ利用者) AI技術を活用する場合

AI技術活用の際は「MLIT DATA PLATFORM MCPサーバ」も積極的に活用！

- ・ 国土交通DPFが提供するMCPサーバを利用し、AIエージェント開発を実施する
- ・ 国土交通DPFのMCPサーバ単独での利用に加え、他のMCPサーバ・LLMと組み合わせて利用することも可能



MLIT DATA PLATFORM MCPサーバ ダウンロードURL
https://mlit-data.jp/#/Page?id=apps_mcp

公募要領：応募手続き

募集タイプC インフラAI共創パートナー

目的：

インフラ分野でのAI利活用を推進するため、AI学習用データやAIアプリケーション開発等に関心のあるコミュニティを組成し、議論する場を設置する

参加条件：

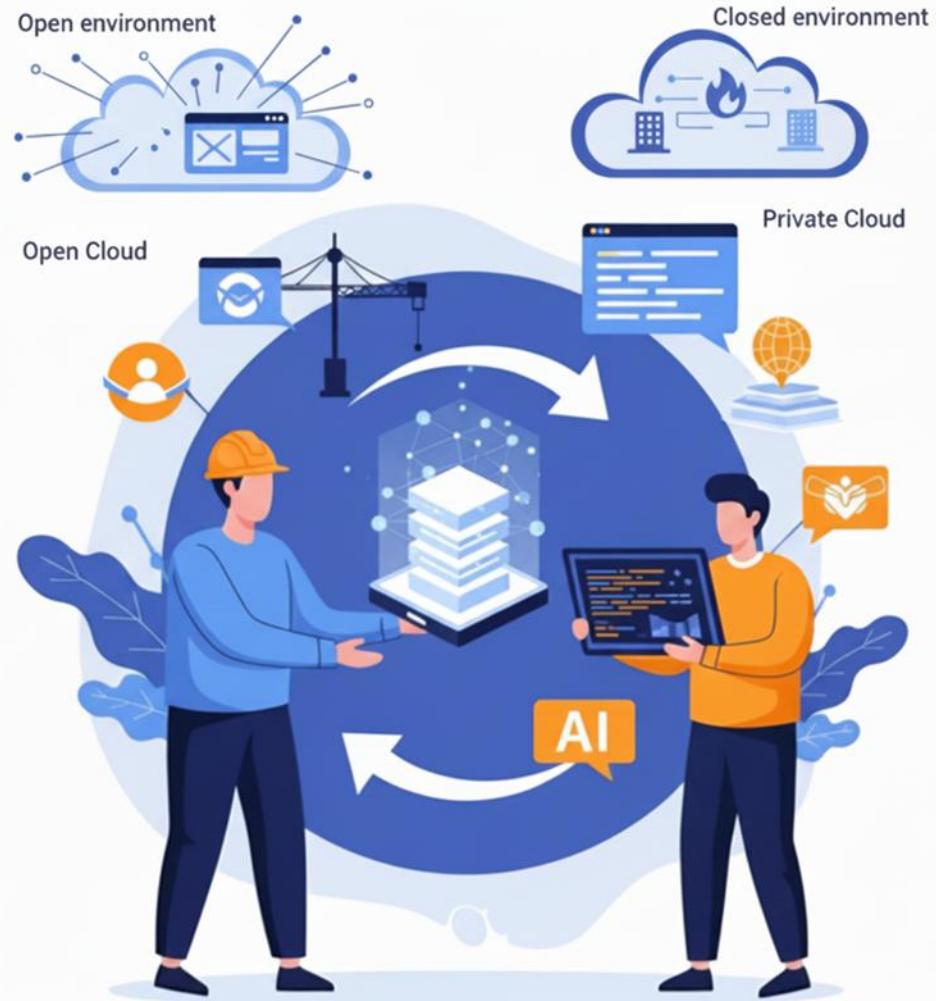
インフラ整備・管理に関するデータを有し、保有データの特性等を参加者間で情報共有すること、データをAI技術により活用する知識・経験、環境を保有する者、等

実施内容：

インフラ整備・管理に関するデータのAI活用に向けた枠組みや技術的な検討（協調領域と競争領域の整理含む）

データの取り扱い：

協調領域と整理されたものは国土交通DPF上で検索・表示ダウンロード可能とする



(※This image was created with generative AI)

国土交通DPF第2期 公募

11月4日（火） 公募開始

11月17日（月） 公募説明会 開催

12月19日（金） 募集締め切り

※以降の予定は検討状況に応じて予定を変更する場合がある

12月下旬頃 公募参加者向け説明会 開催

1月下旬 公募結果のプレスリリース

～令和9年2月 実証期間終了（令和8年7月に中間とりまとめ）